

対象校No. 620

注4

学校コード F123310106657

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

日本福祉大学 工学部 工学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人 日本福祉大学
令和7年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

工学部

<工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本福祉大学

(2) 大学名

日本福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒470-3295

愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	マルヤマ サトル 丸山 悟 (平成25年4月)		
学長	ハラダ マサキ 原田 正樹 (令和5年4月)		
学部長	フクダ ヒデシ 福田 秀志 (令和7年4月)		
学科長等	スズキ タカヒロ 鈴木 隆宏 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 工学科 学士（工学）	工学関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人	-	基礎となる学部 健康科学部福祉工学科

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []															
志願者数	() []	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳	0.78倍	()												
受験者数	() []															
合格者数	() []															
B 入学者数	() []															
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33「収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」JAC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[6]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[6]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	78 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留學生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下 (○人)」のように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数 (a)}}{\text{令和7年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{78} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外(助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎科目	国際コミュニケーションⅠ	1前		1								6
	国際コミュニケーションⅡ	1後		1								6
	心理学	1前		2								1
	社会学	1前		2								1
	経済学	1前		2		1						1
	憲法	1後		2								1
	倫理学	1後		2								1
	健康科学概論	1前		1			1					4
	自然科学概論	1後		2			1					1
	情報処理演習	1前		2								1
	スポーツと健康Ⅰ	1前		1								2
	スポーツと健康Ⅱ	1後		1								2
	国際理解	1通		4								1
	日本福祉大学の歴史	1後		2								1
	ここからからだ	1前		2								1
	福祉社会入門	1前		2								1
	視覚障害者支援論	1前		2								1
	ろう文化と手話	1前		2								1
	地震と減災社会	1前		2		1						1
	聴覚障害者の理解と支援	1前		1								1
	ふくしとフィールドワーク	1前		2								1
	知多半島のふくし	2後		2								1
	ふくしと減災コミュニティ	2後		2								1
	ふくしフィールドワーク実践	3前・後		2								6
小計(24科目)				2	42	0	2	2				26
専門基礎科目	基礎数学Ⅰ	1前	○	2			1					
	基礎数学Ⅱ	1後		2			1					
	AI建築入門	1後		1			2	1				
	確率統計学演習	2前・2後		2			2					
	社会調査法	3前		2								1
	情報数学Ⅰ	1後	○	2			1					
	情報数学Ⅱ	2前	○	2				1				
	情報処理Ⅰ	1前	○	2			1					
	情報処理Ⅱ	1後	○	2								1
	情報処理Ⅲ	2前	○	2								1
福祉情報処理	2後	○	2			1						
オペレーティングシステム演習	1前	○	1				1					
論理回路	3前	○	2			1						
建築学	1前・1後		2			2	2	1				
環境建築入門	1前・1後		2			2	1					
小計(15科目)				2	26	0	6	4	1	0	0	3
専門科目	キャリア開発	1後	○	2			1					
	キャリア開発	3前		2			1					1
	キャリア研究	3前		2			1					1
	卒業研究Ⅰ	3前	○	2			4	4	1			
	AI建築演習	3後		2			2	1				
	卒業研究Ⅱ	3後	○	2			7	4	1			
	卒業研究Ⅲ	4通	○	4			7	4	1			
	プログラミング演習Ⅰ	1前	○	2			1					
	プログラミング演習Ⅱ	1後	○	2			1					
	コンピュータシステムⅠ	1後	○	2			1					
コンピュータシステムⅡ	2前	○	2			1						
カ学基礎	2前	○	2				1					
ユーザインタフェースⅠ	2前	○	2			1						
ユーザインタフェースⅡ	2前	○	2			1						
ITビジネス論	2前	○	2			1						
データ構造とアルゴリズムⅠ	2前	○	2			1						
オプティミゼーションプログラミング演習Ⅰ	2前	○	2			1						

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外(助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎科目	国際コミュニケーションⅠ	1前		1								5
	国際コミュニケーションⅡ	1後		1								5
	心理学	1前		2								1
	社会学	1前		2								1
	経済学	1前		2		1						1
	憲法	1後		2								1
	倫理学	1後		2								1
	健康科学概論	1前		1			1	1				3
	自然科学概論	1前		2								2
	情報処理演習	1前		2								1
	スポーツと健康Ⅰ	1前		1								2
	スポーツと健康Ⅱ	1前		1								2
	国際理解	1通		4								1
	日本福祉大学の歴史	1後		2								1
	ここからからだ	1前		2								1
	福祉社会入門	1前		2								1
	視覚障害者支援論	1前		2								1
	ろう文化と手話	1前		2								1
	地震と減災社会	1前		2		1						1
	聴覚障害者の理解と支援	1前		1								1
	ふくしとフィールドワーク	1前		2								1
	知多半島のふくし	2後		2								1
	ふくしと減災コミュニティ	2後		2								1
	ふくしフィールドワーク実践	3前・後		2								6
小計(24科目)				2	42	0	3	1				25
専門基礎科目	基礎数学Ⅰ	1前	○	2			1					
	基礎数学Ⅱ	1後		2			1					
	AI建築入門	1後		1			2	1				
	確率統計学演習	2前・2後		2			2	2				
	社会調査法	3前		2								1
	情報数学Ⅰ	1後	○	2			1					
	情報数学Ⅱ	2前	○	2				1				
	情報処理Ⅰ	1前	○	2			1					
	情報処理Ⅱ	1後	○	2				1				
	情報処理Ⅲ	2前	○	2								1
福祉情報処理	2後	○	2			1						
オペレーティングシステム演習	1前	○	1				1				1	
論理回路	3前	○	2			1						
建築学	1前・1後		2			2	2	1				
環境建築入門	1前・1後		2			2	1					
小計(15科目)				2	26	0	7	4	1	0	0	3
専門科目	キャリア開発	1後	○	2			1					
	キャリア開発	3前		2			1					1
	キャリア研究	3前		2			1					1
	卒業研究Ⅰ	3前	○	2			4	4	1			
	AI建築演習	3後		2			2	1				
	卒業研究Ⅱ	3後	○	2			7	4	1			
	卒業研究Ⅲ	4通	○	4			7	4	1			
	プログラミング演習Ⅰ	1前	○	2			1					
	プログラミング演習Ⅱ	1後	○	2			1					
	コンピュータシステムⅠ	1後	○	2			1					
コンピュータシステムⅡ	2前	○	2			1						
カ学基礎	2前	○	2				1					
ユーザインタフェースⅠ	2前	○	2			1						
ユーザインタフェースⅡ	2前	○	2			1						
ITビジネス論	2前	○	2			1						
データ構造とアルゴリズムⅠ	2前	○	2			1						
オプティミゼーションプログラミング演習Ⅰ	2前	○	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外 の教員 (助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	建築測量実習	2通	○	2								1
	建築一般構造	3前	○	2		1						
	エコロジカル建築設計演習	3前	○	4			1	1				
	福祉環境論	3前	○	2		1						
	総合BIM演習	3前	○	2								1
	建築防災計画	3前	○	2			1					
	都市緑化論	3前	○	2			1					1
	福祉住環境計画	3後	○	2			1					
	建築設備	3後	○	2								1
	建築一般構造応用	3後	○	2		1						
	建築環境工学	3後	○	2								1
	福祉環境設計演習	3後	○	4			2					
	環境経済学	3後	○	2		1						
	ビオトープ計画施工演習	3後	○	4		1						
	環境分析評価演習	3後	○	2		1						
	造園学	3後	○	2		1						3
	環境共生のまちづくり	3後	○	2			1					1
	森林保護学	3後	○	2		1						
	企業・行政研究	4前	○	2		1						1
	ビオトープ研究	4前	○	2		1						1
単位認定科目※	情報技術Ⅰ	1後		2								
	情報技術Ⅱ	1後		2								
	情報技術Ⅲ	1後		2								
	情報技術Ⅳ	1後		2								
	キャリア形成Ⅰ	1後		2								
	キャリア形成Ⅱ	1後		2								
	キャリア形成Ⅲ	1後		2								
	キャリア形成Ⅳ	1後		2								
	インターンシップⅠ	2後		1								
	インターンシップⅡ	2後		2								
小計(102科目)				8	199	0	9	4	1	0	0	23
自由科目	ビジネススキル	2前・2後			2							1
	小計(1科目)			0	0	2	0	0	0	0	0	1
合計(143科目)				12	267	2	10	4	1	0	0	46

卒業要件及び履修方法

自専修開講科目のうち、必修科目12単位を含め、総合基礎科目10単位以上、専門基礎科目と専門科目あわせて80単位以上修得し、総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて総計124単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外 の教員 (助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	建築測量実習	2通	○	2								1
	建築一般構造	3前	○	2		1						
	エコロジカル建築設計演習	3前	○	4			1	1				
	福祉環境論	3前	○	2		1						
	総合BIM演習	3前	○	2								1
	建築防災計画	3前	○	2			1					
	都市緑化論	3前	○	2			1					1
	福祉住環境計画	3後	○	2			1					
	建築設備	3後	○	2								1
	建築一般構造応用	3後	○	2		1						
	建築環境工学	3後	○	2								1
	福祉環境設計演習	3後	○	4			2					
	環境経済学	3後	○	2		1						
	ビオトープ計画施工演習	3後	○	4		1						
	環境分析評価演習	3後	○	2		1						
	造園学	3後	○	2		1						3
	環境共生のまちづくり	3後	○	2			1					1
	森林保護学	3後	○	2		1						
	企業・行政研究	4前	○	2		1						1
	ビオトープ研究	4前	○	2		1						1
単位認定科目※	情報技術Ⅰ	1後		2								
	情報技術Ⅱ	1後		2								
	情報技術Ⅲ	1後		2								
	情報技術Ⅳ	1後		2								
	キャリア形成Ⅰ	1後		2								
	キャリア形成Ⅱ	1後		2								
	キャリア形成Ⅲ	1後		2								
	キャリア形成Ⅳ	1後		2								
	インターンシップⅠ	2後		1								
	インターンシップⅡ	2後		2								
小計(102科目)				8	199	0	9	4	1	0	0	25
自由科目	ビジネススキル	2前・2後			2							1
	小計(1科目)			0	0	2	0	0	0	0	0	1
合計(143科目)				12	267	2	10	4	1	0	0	49

卒業要件及び履修方法

自専修開講科目のうち、必修科目12単位を含め、総合基礎科目10単位以上、専門基礎科目と専門科目あわせて80単位以上修得し、総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて総計124単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。**その上で、各年度については、「**基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)**」数は、**認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」「大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」」**数は、**認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字**としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後半に「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・クラス数の変更に伴い「国際コミュニケーションⅠ」及び「国際コミュニケーションⅡ」の基幹教員以外の教員を「6」から「5」に変更。
- ・「国際コミュニケーションⅡ」の基幹教員以外の教員を「6」から「5」に変更。
- ・時間割の調整に伴い、「自然科学概論」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・時間割の調整に伴い、「スポーツと健康Ⅱ」の開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・時間割の調整に伴い、「建築材料Ⅰ」の開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「健康科学概論」の基幹教員を「1」から「2」、基幹教員以外の教員を「4」から「3」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「情報処理Ⅱ」の期間教員を「0」から「1」、基幹教員以外の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「オペレーティングシステム演習」の基幹教員を「1」から「0」、基幹教員以外の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「建築計画Ⅰ」の基幹教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「建築製図演習」の基幹教員以外の教員を「0」から「2」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	136 科目	1 科目	142 科目	5 科目 [-]	136 科目 [-]	1 科目 [-]	142 科目 [-]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{142} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	令和7年4月1日 校舎拡張用地購入： 2,242.18 借上面積（設置学部関係）：16,262.54 借用期間：35年			
	校舎敷地	251,967.65㎡ 229,541.47㎡	0㎡	0㎡	251,967.65㎡ 229,541.47㎡				
	その他	35,345.69㎡	0㎡	0㎡	35,345.69㎡				
	合計	287,313.34㎡ 264,887.16㎡	0㎡	0㎡	287,313.34㎡ 264,887.16㎡				
(2) 校舎	専 用	78,969.05㎡	0㎡	0㎡	78,969.05㎡				
	(78,969.05㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(78,969.05㎡)				
(3) 教室・教員研究室		教 室	367室 388室	教員研究室	13室 236室	教室数（大学全体） ：教室の用途変更による 教員研究室（学部） ：集計方法の錯誤。			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体での共用分 図書 632,155冊 [109,650冊] 625,842冊 [110,654冊] 学術雑誌 7,906冊 [5,469冊] 7,530冊 [5,062冊] うち電子ジャーナル 7,125冊 [5,357冊] 6,579冊 [4,872冊] ※電子ジャーナル数は学部学 科単位で特定不能なため大学 全体の数	
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点	点			
	工学部 工学科	11,147[1,802] (10,748[1,717]) (10,552[1,727])	305[25] (479[0]) (180[0])	6,630[4,876] (7,170[5,360]) 6,630[4,876]	6,579[4,872] (7,125[5,357]) 6,579[4,872]	571	(0)		
計	11,147[1,802] (10,748[1,717]) (10,552[1,727])	305[25] (479[0]) (180[0])	6,630[4,876] (7,170[5,360]) 6,630[4,876]	6,579[4,872] (7,125[5,357]) 6,579[4,872]	571	(0)			
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体 ：集計方法の錯誤。		
	711.37㎡ 3,778.13㎡		1626.93㎡ 403.01㎡		6321.15㎡ 4432.19㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	550千円	550千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
	共同研究費等	16,500千円	16,500千円	設備購入費	95,514千円 98,705千円	0千円	0千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,525千円	1,325千円	1,325千円	1,325千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用・事業収入等を充当する。							

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び

「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）

・「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本福祉大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	6	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
社会福祉学部	4	400	3年次40	1,680	-	0.68	-	-	昭和32	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6				
社会福祉学科	4	400	3年次40	1,680	学士(社会福祉学)	0.68	-	-	昭和32	同上				
経済学部	4	240	-	840	-	1.04	0.98	-	昭和51	愛知県東海市大田町下浜田1071番	令和7年度入学定員40名増			
経済学科	4	240	-	840	学士(経済学)	1.04	0.98	-	昭和51	同上				
福祉経営学部	4	800	3年次400	4,000	-	1.34	1.23	-	平成15	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6				
医療・福祉マネジメント学科	4	800	3年次400	4,000	学士(福祉経営学)	1.34	1.23	-	平成15	同上				
健康科学部	4	80	-	740	-	-	-	-	平成20	愛知県半田市東生見町26番2				
リハビリテーション学科	4	80	-	440	学士(健康科学)	0.87	-	-	平成20	同上	令和7年度入学定員40名減			
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士(健康科学)	1.01	0.98	-	平成20	同上				
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士(健康科学)	0.92	-	-	平成20	同上				
介護学専攻	4	-	-	120	学士(健康科学)	0.62	-	-	平成20	同上	令和7年度学生募集停止			
福祉工学科	4	-	-	300	学士(健康科学)	0.57	-	-	平成20	同上	令和7年度学生募集停止			
教育・心理学部	4	315	-	1260	-	0.65	-	-	平成20	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6				
こども学科	4	120	-	670	学士(こども学)	0.46	-	-	平成20	同上	令和7年度学科名称変更			
学校教育学科	4	95	-	190	学士(学校教育)	0.61	-	-	令和6	同上				
心理学科	4	100	-	400	学士(心理学)	0.99	-	-	平成20	同上				
国際学部	4	80	-	320	-	0.98	-	-	平成20	愛知県東海市大田町下浜田1071番	令和6年学部名称変更			
国際学科	4	80	-	320	学士(国際学)	0.98	-	-	平成20	同上	令和6年学科名称変更			
看護学部	4	100	-	400	-	1.06	1.02	-	平成29	愛知県東海市大田町下浜田1071番				
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.06	1.02	-	平成29	同上				
スポーツ科学部	4	180	-	720	-	1.03	0.99	-	平成29	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6				
スポーツ科学科	4	180	-	720	学士(スポーツ科学)	1.03	0.99	-	平成29	同上				
工学部	4	100	-	100	-	0.78	-	-	令和7	愛知県半田市東生見町26番2	令和7年度開設			
工学科	4	100	-	100	学士(工学)	0.78	-	-	令和7	同上				
大学全体	4	2,295	3年次440	10,060	-	0.87	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<工学部 工学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	材ハ カヒサ 大場 和久 <令和7年4月>
		プログラミング演習Ⅱ データ構造とアルゴリズムⅠ システム設計論 情報工学実験Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 論理回路 地震と減災社会
基(主専)	教授	カダ ジュンイチ 串田 淳一 <令和7年9月>
		オブジェクト指向プログラミング演習Ⅰ 人工知能Ⅰ 情報工学実験Ⅰ 人工知能Ⅱ マルチメディアとAI 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ AI建築入門 AI建築演習 データ構造とアルゴリズムⅡ
基(主専)	教授	コガミ ヨシノブ 児玉 善郎 <令和7年4月>
		卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 福祉環境論 住環境整備 建築学概論
基(主専)	教授	サカミ マサヲ 坂上 雅治 <令和7年4月>
		経済学 確率統計学演習 環境政策論 環境経済学 キャリア開発 キャリア研究 環境分析評価演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 企業・行政研究 建築学概論 AI建築入門 AI建築演習 環境建築入門
基(主専)	教授	スズキ タカヒロ 鈴木 隆宏 <令和7年4月>
		プログラミング演習Ⅰ コンピュータシステムⅠ コンピュータシステムⅡ オブジェクト指向プログラミング演習Ⅱ 情報ネットワークⅠ 情報ネットワークⅡ 情報セキュリティ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	材ハ カヒサ 大場 和久 <令和7年4月>
		プログラミング演習Ⅱ データ構造とアルゴリズムⅠ システム設計論 情報工学実験Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 論理回路 地震と減災社会 情報処理Ⅱ
基(主専)	教授	カダ ジュンイチ 串田 淳一 <令和7年4月>
		オブジェクト指向プログラミング演習Ⅰ 人工知能Ⅰ 情報工学実験Ⅰ 人工知能Ⅱ マルチメディアとAI 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ AI建築入門 AI建築演習 データ構造とアルゴリズムⅡ 健康科学概論
基(主専)	教授	コガミ ヨシノブ 児玉 善郎 <令和7年4月>
		卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 福祉環境論 住環境整備 建築学概論
基(主専)	教授	サカミ マサヲ 坂上 雅治 <令和7年4月>
		経済学 確率統計学演習 環境政策論 環境経済学 キャリア開発 キャリア研究 環境分析評価演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 企業・行政研究 建築学概論 AI建築入門 AI建築演習 環境建築入門
基(主専)	教授	スズキ タカヒロ 鈴木 隆宏 <令和7年4月>
		プログラミング演習Ⅰ コンピュータシステムⅠ コンピュータシステムⅡ オブジェクト指向プログラミング演習Ⅱ 情報ネットワークⅠ 情報ネットワークⅡ 情報セキュリティ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授 (学部長)	フクダ ヒロシ 福田 秀志 <令和7年4月>
		森林保護学 ビオトープ計画施工演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 生態学概論 環境建築入門 確率統計学演習 ビオトープ研究 造園学 建築学概論 都市景観生態学
基(主専)	教授	ヤノ ヒロキ 矢野 秀樹 <令和7年4月>
		基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 情報処理Ⅰ 情報数学Ⅰ
基(主専)	教授	ワタベ アキラ 渡辺 崇史 <令和7年9月>
		アシスティブテクノロジーⅠ 情報アクセシビリティ 福祉用具演習 福祉情報処理 リハビリテーション工学 情報工学実験Ⅱ 組込みプログラミング演習 福祉用具プランニング演習Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
基(主専)	准教授	ウノ シンイチロウ 宇野 伸一郎 <令和7年4月>
		オペレーティングシステム演習 自然科学概論 情報数学Ⅱ 力学基礎 マルチメディアⅠ マルチメディアⅡ Webプログラミング演習 データベース演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
基(主専)	准教授	カガチ ダイ 坂口 大史 <令和7年4月>
		エコロジカル建築 エコロジカル建築設計演習 環境共生のまちづくり 都市緑化論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 建築学概論 建築デザイン表現演習 環境建築入門 建築設計演習Ⅱ AI建築入門 AI建築演習 建築フィールドワーク 情報・建築アントレプレナー シップセミナー

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	フクダ ヒロシ 福田 秀志 <令和7年4月>
		森林保護学 ビオトープ計画施工演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 生態学概論 環境建築入門 確率統計学演習 ビオトープ研究 造園学 建築学概論 都市景観生態学
基(主専)	教授	ヤノ ヒロキ 矢野 秀樹 <令和7年4月>
		基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 情報処理Ⅰ 情報数学Ⅰ
基(主専)	教授	ワタベ アキラ 渡辺 崇史 <令和7年9月>
		アシスティブテクノロジーⅠ 情報アクセシビリティ 福祉用具演習 福祉情報処理 リハビリテーション工学 情報工学実験Ⅱ 組込みプログラミング演習 福祉用具プランニング演習Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
基(主専)	准教授	ウノ シンイチロウ 宇野 伸一郎 <令和8年4月>
		情報数学Ⅱ 力学基礎 マルチメディアⅠ マルチメディアⅡ Webプログラミング演習 データベース演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
基(主専)	准教授	カガチ ダイ 坂口 大史 <令和7年4月>
		エコロジカル建築 エコロジカル建築設計演習 環境共生のまちづくり 都市緑化論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 建築学概論 建築デザイン表現演習 環境建築入門 建築設計演習Ⅱ AI建築入門 AI建築演習 建築フィールドワーク 情報・建築アントレプレナー シップセミナー

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	准教授	ムイ ヒサ 村井 裕樹 <令和7年4月>
		建築設計演習Ⅰ 都市計画論 建築防災計画 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 福祉環境設計演習 建築学概論 建築デザイン入門 西洋・日本建築史 建築人間工学
基(主専)	准教授	モリ 泳 毛利 志保 <令和7年4月>
		卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 福祉住環境計画 建築設計演習Ⅱ 福祉環境設計演習 建築人間工学 建築学概論 建築デザイン入門 建築図学 建築計画Ⅱ 健康科学概論 建築計画Ⅰ
基(主専)	講師	ハシモト 圭央 橋本 圭央 <令和7年4月>
		建築製図演習 建築学概論 建築デザイン入門 エコロジカル建築設計演習 建築設計演習Ⅰ 建築計画Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 西洋・日本建築史 近代建築史 建築フィールドワーク 情報・建築アントレプレナー シップセミナー
基(他)	教授	イトウ ヒロキ 井戸田 秀樹 <令和8年4月>
		建築構造力学 建築構造力学応用 建築一般構造 建築一般構造応用
基(他)	教授	ミヅモト 徹 水本 徹 <令和8年4月>
		ユーザインタフェースⅠ ユーザインタフェースⅡ UXデザイン演習 ITビジネス論
その他	教授	アサヒ ユウジ 浅井 友詞 <令和7年4月>
		健康科学概論
その他	教授	カタヤマ 善博 片山 善博 <令和7年9月>
		倫理学

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	准教授	ムイ ヒサ 村井 裕樹 <令和7年4月>
		建築設計演習Ⅰ 都市計画論 建築防災計画 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 福祉環境設計演習 建築学概論 建築デザイン入門 西洋・日本建築史 建築人間工学
基(主専)	准教授	モリ 泳 毛利 志保 <令和7年4月>
		卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 福祉住環境計画 建築設計演習Ⅱ 福祉環境設計演習 建築人間工学 建築学概論 建築デザイン入門 建築図学 建築計画Ⅱ 健康科学概論
基(主専)	講師	ハシモト 圭央 橋本 圭央 <令和7年4月>
		建築製図演習 建築学概論 建築デザイン入門 エコロジカル建築設計演習 建築設計演習Ⅰ 建築計画Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 西洋・日本建築史 近代建築史 建築フィールドワーク 情報・建築アントレプレナー シップセミナー
基(主専)	教授	イトウ ヒロキ 井戸田 秀樹 <令和8年4月>
		建築構造力学 建築構造力学応用 建築一般構造 建築一般構造応用
基(他)	教授	ミヅモト 徹 水本 徹 <令和8年4月>
		ユーザインタフェースⅠ ユーザインタフェースⅡ UXデザイン演習 ITビジネス論
その他	教授	アサヒ ユウジ 浅井 友詞 <令和7年4月>
		健康科学概論
その他	教授	カタヤマ 善博 片山 善博 <令和7年9月>
		倫理学

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	ケセ ジュンコ 久世 淳子 <令和7年4月>
		心理学 健康科学概論 社会調査法
その他	教授	サトウ シンイチ 佐藤 慎一 <令和7年4月>
		国際理解
その他	教授	ヤマカ タケヒコ 山中 武彦 <令和7年4月>
		健康科学概論
その他	准教授	イシダ トミ 石田 知美 <令和7年9月>
		日本福祉大学の歴史
その他	准教授	スズキ ケンジ 鈴木 健司 <令和8年4月>
		ビジネススキル
その他	准教授	ミズタニ ナオミ 水谷 なおみ <令和7年4月>
		健康科学概論
その他	講師	サトウ ダイスケ 佐藤 大介 <令和7年4月>
		知多半島のふくし ふくしとフィールドワーク ふくしと減災コミュニティ ふくしフィールドワーク実践
その他	講師	タカムラ シュウシ 高村 秀史 <令和9年9月>
		ふくしフィールドワーク実践
その他	講師	ムラカミ ヒロキ 村川 弘城 <令和7年4月>
		こころとからだ ふくしフィールドワーク実践
その他	助教	コバヤシ マユミ 小林 真弓 <令和7年4月>
		聴覚障害者の理解と支援 福祉社会入門
その他	助教	ハラダ ケンノブ 原田 康信 <令和9年9月>
		ふくしフィールドワーク実践

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	ケセ ジュンコ 久世 淳子 <令和7年4月>
		心理学 健康科学概論 社会調査法
その他	講師	カーパトリック ガイリー 75 Kirpatrick Gary Alan <令和7年4月>
		国際理解
その他	教授	ヤマカ タケヒコ 山中 武彦 <令和7年4月>
		健康科学概論
その他	准教授	イシダ トミ 石田 知美 <令和7年9月>
		日本福祉大学の歴史
その他	准教授	スズキ ケンジ 鈴木 健司 <令和8年4月>
		ビジネススキル
その他	講師	サトウ ダイスケ 佐藤 大介 <令和7年4月>
		知多半島のふくし ふくしとフィールドワーク ふくしと減災コミュニティ ふくしフィールドワーク実践
その他	講師	タカムラ シュウシ 高村 秀史 <令和9年9月>
		ふくしフィールドワーク実践
その他	講師	ムラカミ ヒロキ 村川 弘城 <令和7年4月>
		こころとからだ ふくしフィールドワーク実践
その他	助教	コバヤシ マユミ 小林 真弓 <令和7年4月>
		聴覚障害者の理解と支援 福祉社会入門
その他	助教	ハラダ ケンノブ 原田 康信 <令和9年9月>
		ふくしフィールドワーク実践

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	伊ノ ぐみ 市野 恵 ＜令和9年9月＞
		ふくしフィールドワーク実践
その他	講師	伊ガキ 賢 稲垣 賢人 ＜令和7年4月＞
		スポーツと健康Ⅰ スポーツと健康Ⅱ
その他	講師	村 シュウロウ 王 秀希 ＜令和7年4月＞
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	講師	大井 隆弘 大井 隆弘 ＜令和8年9月＞
		近代建築史
その他	講師	加田 文郷 加田 文郷 ＜令和7年4月＞
		建築図学 建築生産
その他	講師	川崎 善信 川崎 善信 ＜令和9年9月＞
		情報総合演習
その他	講師	児玉 道子 児玉 道子 ＜令和9年9月＞
		福祉用具プランニング演習Ⅱ
その他	講師	小林 高浩 小林 高浩 ＜令和8年9月＞
		ランドスケープ設計演習 造園学
その他	講師	佐藤 廣志 佐藤 廣志 ＜令和8年4月＞
		建築法規
その他	講師	塩原 拓 塩原 拓 ＜令和8年4月＞
		建築デザイン表現演習 建築CAD演習 都市緑化論 総合BIM演習 環境共生のまちづくり
その他	講師	志田 弘二 志田 弘二 ＜令和8年9月＞
		建築ユニバーサルデザイン論
その他	講師	志知 篤 志知 篤 ＜令和7年9月＞
		情報処理Ⅱ 情報処理Ⅲ CAD演習Ⅰ CAD演習Ⅱ モバイルアプリケーション演習

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	伊ノ ぐみ 市野 恵 ＜令和9年9月＞
		ふくしフィールドワーク実践
その他	講師	伊ガキ 賢 稲垣 賢人 ＜令和7年4月＞
		スポーツと健康Ⅰ スポーツと健康Ⅱ
その他	講師	村 シュウロウ 王 秀希 ＜令和7年4月＞
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	講師	大井 隆弘 大井 隆弘 ＜令和8年9月＞
		近代建築史
その他	講師	加田 文郷 加田 文郷 ＜令和7年4月＞
		建築図学 建築生産
その他	講師	川崎 善信 川崎 善信 ＜令和9年9月＞
		情報総合演習
その他	講師	児玉 道子 児玉 道子 ＜令和9年9月＞
		福祉用具プランニング演習Ⅱ
その他	講師	小林 高浩 小林 高浩 ＜令和8年9月＞
		ランドスケープ設計演習 造園学
その他	講師	佐藤 廣志 佐藤 廣志 ＜令和8年4月＞
		建築法規
その他	講師	塩原 拓 塩原 拓 ＜令和8年4月＞
		建築デザイン表現演習 建築CAD演習 都市緑化論 総合BIM演習 環境共生のまちづくり
その他	講師	志田 弘二 志田 弘二 ＜令和8年9月＞
		建築ユニバーサルデザイン論
その他	講師	志知 篤 志知 篤 ＜令和8年4月＞
		情報処理Ⅲ CAD演習Ⅰ CAD演習Ⅱ モバイルアプリケーション演習

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	シス トミ 清水 人美 <令和7年4月>
		建築材料Ⅰ 建築材料Ⅱ
その他	講師	シガ ケ 白神 健 <令和9年9月>
		造園学
その他	講師	スギ ヨシヲ 鈴木 義成 <令和8年4月>
		建築測量実習
その他	講師	タイ ヨコ 田井 洋子 <令和9年9月>
		造園学
その他	講師	タカチ 智代 高井 智代 <令和9年9月>
		建築環境工学
その他	講師	チノ レイ 陳 麗華 <令和7年4月>
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	講師	トミタ ミツル 富板 充 <令和8年9月>
		アシスティブテクノロジーⅡ
その他	講師	ニノ ヤスコ 新野 康子 <令和7年4月>
		ろう文化と手話
その他	講師	ハセガワ アキコ 長谷川 明子 <令和10年4月>
		ビオトープ研究
その他	講師	ハン モウ 樊 孟 <令和7年4月>
		スポーツと健康Ⅰ スポーツと健康Ⅱ
その他	講師	ヒビ タケヤ 日比 拓也 <令和7年9月>
		憲法
その他	講師	フクヤマ エリコ 福嶋 恵理子 <令和7年4月>
		情報処理演習
その他	講師	フジイ ヒロキ 藤井 博之 <令和9年9月>
		ふくしフィールドワーク実践

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	シス トミ 清水 人美 <令和7年9月>
		建築材料Ⅰ 建築材料Ⅱ
その他	講師	シガ ケ 白神 健 <令和9年9月>
		造園学
その他	講師	スギ ヨシヲ 鈴木 義成 <令和8年4月>
		建築測量実習
その他	講師	タイ ヨコ 田井 洋子 <令和9年9月>
		造園学
その他	講師	タカチ 智代 高井 智代 <令和9年9月>
		建築環境工学
その他	講師	トミタ ミツル 富板 充 <令和8年9月>
		アシスティブテクノロジーⅡ
その他	講師	ニノ ヤスコ 新野 康子 <令和7年4月>
		ろう文化と手話
その他	講師	ハセガワ アキコ 長谷川 明子 <令和10年4月>
		ビオトープ研究
その他	講師	ハン モウ 樊 孟 <令和7年4月>
		スポーツと健康Ⅰ スポーツと健康Ⅱ
その他	講師	ヒビ タケヤ 日比 拓也 <令和7年9月>
		憲法
その他	講師	エノモト アキミ 榎本 明美 <令和7年4月>
		情報処理演習
その他	講師	フジイ ヒロキ 藤井 博之 <令和9年9月>
		ふくしフィールドワーク実践

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	フジイヨシ 藤井 良樹 <令和7年4月>
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	講師	ホノヒロシ 星野 宏 <令和7年4月>
		経済学 キャリア開発 キャリア研究 企業・行政研究
その他	講師	マエカケイ 前川 賢一 <令和7年4月>
		視覚障害者支援論
その他	講師	マツミミチ 松波 美熙 <令和7年4月>
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	講師	モリシカコ 森西 香代子 <令和7年4月>
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	講師	ヤヅリユカ 矢沢 由多加 <令和8年9月>
		アシスティブテクノロジーⅡ
その他	講師	ヤマグチヒロシ 山口 宏 <令和7年4月>
		社会学
その他	講師	イシギヨウジ 伊 壺英 <令和9年9月>
		建築設備
その他	講師	ワカサナギサ 若槻 なぎさ <令和7年4月>
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	フジイヨシ 藤井 良樹 <令和7年4月>
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	講師	ホノヒロシ 星野 宏 <令和7年4月>
		経済学 キャリア開発 キャリア研究 企業・行政研究
その他	講師	マエカケイ 前川 賢一 <令和7年4月>
		視覚障害者支援論
その他	講師	マツミミチ 松波 美熙 <令和7年4月>
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	講師	タケダタロウ 武田 太一 <令和7年4月>
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	講師	モリシカコ 森西 香代子 <令和7年4月>
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	講師	ヤヅリユカ 矢沢 由多加 <令和8年9月>
		アシスティブテクノロジーⅡ
その他	講師	ヤマグチヒロシ 山口 宏 <令和7年4月>
		社会学
その他	講師	イシギヨウジ 伊 壺英 <令和9年9月>
		建築設備
その他	講師	ワカサナギサ 若槻 なぎさ <令和7年4月>
		国際コミュニケーションⅠ 国際コミュニケーションⅡ
その他	教授	イガキケンジ 板垣 賢二 <令和7年4月>
		自然科学概論
その他	教授	マツシロメイ 松下 明生 <令和7年4月>
		自然科学概論
その他	講師	イハラアサミ 石原 愛美 <令和7年9月>
		建築製図演習

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			その他	講師	ハシト ヨシ 橋本 吉史 <令和7年9月> 建築製図演習
			その他	講師	シガチ マチ 吉口 史晃 <令和7年4月> オペレーティングシステム演習

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
 - ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
 - ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・大場教授（基（主専））について、担当者変更に伴い「情報処理Ⅱ」を追加。
- ・串田教授（基（主専））について、担当者変更に伴い「健康科学概論」を追加。
- ・宇野准教授（基（主専））について、担当者変更に伴い「オペレーティングシステム演習」、「自然科学概論」を削除。
- ・毛利准教授（基（主専））について、担当者変更に伴い「建築計画Ⅰ」を削除。
- ・板垣教授（その他）について、担当者変更に伴い「自然科学概論」を追加。
- ・佐藤教授（その他）について、担当者変更に伴い「国際理解」を削除。
- ・松下教授（その他）について、担当者変更に伴い「自然科学概論」を追加。
- ・水谷准教授（その他）について、担当者変更に伴い「健康科学概論」を削除。
- ・ゲイリー講師（その他）について、担当者変更に伴い、「国際理解」を追加。
- ・石原講師（その他）について、担当者変更に伴い「建築製図演習」を追加。
- ・榎本講師（その他）について、担当者変更に伴い「情報処理演習」を追加。
- ・志知講師（その他）について、担当者変更に伴い「情報処理Ⅱ」を削除。
- ・陳講師（その他）について、担当者変更に伴い「国際コミュニケーションⅠ」及び「国際コミュニケーションⅡ」を削除。
- ・橋本講師（その他）について、担当者変更に伴い「建築製図演習」を追加。
- ・福嶋講師（その他）について、担当者変更に伴い「情報処理演習」を削除。
- ・松波講師（その他）について、担当者変更に伴い「国際コミュニケーションⅠ」及び「国際コミュニケーションⅡ」を削除。
- ・吉口講師（その他）について、担当者変更に伴い「オペレーティングシステム演習」を追加。

(注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めていた事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上
14 名	7 名	11 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数」を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教授	准教授	講師	助教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（B'）	助手（B'）
10	4	1	0	15	15	0	7	3	1	0	11	11	0
(6)	(4)	(1)	(0)	(11)	(11)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（C'）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（D'）	助手（D'）
10	4	1	0	15	15	0	10	4	1	0	15	15	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計）」として記入してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
 また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）」欄には「-」を記入してください。
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数**を、届出で設置された学部等の場合は、**「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数**を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	3 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A'')}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{11} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C'')}}{\text{設置時の計画(A''')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし									
合計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	#####	科目	必修	#####	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	#####	科目	選択	#####	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	#####	科目	自由	#####	科目
		計	#VALUE!	科目	計	#####	科目	計	#####	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = \frac{0}{15} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当無し								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・上記(3)の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
届出時 (令和6年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【届出】 遵守事項 本学では、「日本福祉大学特別任用教授規程」、「日本福祉大学招聘教員規程」、「日本福祉大学特命教員規程」において、必要な条件を満たし、必要とされる手続きを経た場合に限り、雇用期間を満70才に達した年度末までとできることとしている。教育研究活動を積極的に展開する上で、適正な教員編成（年齢構成と各専門領域の職位別の教員配置）とするため、「教員組織の編成の考え方及び特色（設置の趣旨等を記載した書類）」のとおり計画し、取り組みを進めている。あわせて、助教から准教授、准教授から教授への昇任等を適切に行うことにより、基幹教員の構成について一層の適正化を図るための取り組みを進めている。（7）	履行中 教員組織の編成においては、大学、学部、学科の将来計画を鑑み、大学および学部が定める「求める人材像および教員組織の編制方針」に則って、退職者の補充については、専門分野、職位、年齢、性別構成等のバランスを勘案しながら、教員組織の継続性及び一貫性を保つよう努める。（7）
届出時 (令和6年)	【通信教育課程】福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科の収容定員超過の是正に努めること。	【届出】 遵守事項 過去4年間の収容定員充足率は以下の通りである。 令和4年度：1.47 (5,895/4,000) 令和5年度：1.22 (4,896/4,000) 令和6年度：1.19 (4,761/4,000) 令和7年度：1.34 (5,351/4,000) ※収容定員充足率（在籍者数/収容定員） 令和4年度以降、収容定員超過は改善状況が続いていたが、令和7年度収容定員充足率は1.34となったため、令和9年度以降の定員変更（定員増）も視野に入れた検討を進める計画である。（7）	履行中 収容定員の適正化に向けた収容定員設定のあり方について検討を行う。（7）
届出時 (令和6年)	国際学部国際学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【届出】 遵守事項 収容定員未充足の改善に向けた対応として、多様な学生（留学生）の受入れ促進を図るために日本国内外の学校との連携強化を推進し、令和7年度収容定員充足率が0.78倍（前年度比0.11ポイント改善）となった。また、同年度入学者選抜より、全学部を対象とした学費減免制度（一般入学試験【前期日程】A方式（3教科型）の合格者の内、成績上位者25%が対象）を導入するとともに、学校推薦型選抜（一般推薦入学試験）に適性検査型を導入した。令和8年度入学者選抜に向けて、高校訪問やオープンキャンパス等において周知を図っている。（7）	履行中 多様な学生（留学生）の受入れ促進の更なる強化等を通じて、引き続き、収容定員未充足の改善に取り組む。（7）
届出時 (令和6年)	教育・心理学部子ども発達学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【届出】 遵守事項 収容定員未充足の改善に向けた対応として、教育課程の特長を明確にするため、令和7年度より学科名称を「こども学科」に変更した。また、同年度入学者選抜より、全学部を対象とした学費減免制度（一般入学試験【前期日程】A方式（3教科型）の合格者の内、成績上位者25%が対象）を導入するとともに、学校推薦型選抜（一般推薦入学試験）に適性検査型を導入した。令和8年度入学者選抜に向けて、高校訪問やオープンキャンパス等において周知を図っている。（7）	履行中 学科名称変更後も収容定員未充足状況が改善されないため、令和9年度以降の定員変更（定員減）に向けた検討に着手した。（7）

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- 工学部委員会を設置 ※規程（「日本福祉大学全学教育センター規程」）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- 工学部委員会について、8月を除き月に2回開催予定である。

c 委員会の審議事項等

- 工学部委員会における教員の資質の維持向上に関する審議事項について、学生による授業評価アンケートの結果分析と教育実践への活用に加え、時宜にかなったテーマでのFD研修会の企画の検討、実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容

- 授業評価アンケートの実施（評価分析、結果公開、改善策の検討など）
- 学部改革や留学生対応等、学部が抱える課題に応じた研修会の開催。

b 実施方法

- 工学部長が中心となって、学部としてのFD活動について、企画・運営する予定である。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 令和7年度においては7月に第1回FD研修会の実施を予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 令和7年度後期に、前期における実施結果を踏まえた授業改善への取組み状況についての評価を行う予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- 令和7年度前期末及び年度末に学生に対する授業評価アンケートの実施を計画している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- 科目担当者（教員）に対しては、学内システムを利用してアンケート結果に対するコメント入力を依頼。
- 科目担当者以外の教員と履修者（学生）に対しては、学内システムにてアンケート結果を公開。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学部工学科は、情報工学および建築学の専門的知識と技術を基盤に、すべての人のWell-beingの実現に資する技術者の育成を目的としている。特に、急速に進展するIoT、ビッグデータ、AIなどの高度IT技術や、超高齢社会・気候変動といった現代的課題に対応する建築技術を活用し、福祉・医療・環境など多様な分野に貢献できる人材の養成を重視している。また、情報・建築の両領域において、社会課題の解決に向けた倫理観と人間観を備えた技術者の育成を目指し、教育課程を編成している。

令和7年度の学生募集活動では、オープンキャンパスや進学相談会、高校訪問等において本学科の特長を積極的に広報したが入学者78名(入学定員充足率0.78)となっている。入学定員充足に向けて、学生募集活動(オープンキャンパス、進学相談会、高校訪問等)の一層の取り組み強化が課題である。

本学科の教員は、4月以降一連のFD活動において、上記の学科の設置目的や3ポリシーについての理解を深め、教育・研究活動及び学部運営に取り組んでいる。今後は学年の進行に合わせて、設置計画に基づく教育課程の運営を着実に進めるとともに、一層の教育効果の向上を目指して教育方法等の工夫に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和8年6月30日 公表予定

b 公表方法

・本学ウェブサイトに掲載。(https://www.n-fukushi.ac.jp/about/outline/self-assessment/)

③ 認証評価を受ける計画

・令和6年度に公益財団法人大学基準協会による機関別認証評価(第3期)を受審済

・令和13年度に公益財団法人大学基準協会による機関別認証評価(第4期)を受審予定

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和7年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。